

#### 全校企画 2020 実行委員長の言葉

みなさん、折り鶴の制作お疲れ様でした。この全校企画が始まったばかりの頃は、私たち実行委員と先生方は、きちんとした作品ができるか心配でした。ですが、みなさんの協力の末、無事に制作を進め、完成させることができました。

完成したメッセージは、3年生の実行委員が何度も集会を開き考えたものです。メッセージは新型コロナ終息の願いを込める・東中全員のパワーで作り上げる・東中をそして地域（鹿沼）を盛り上げるという3つの目的にふさわしいものを考えました。特に、「全てが私達の青春」という文には、コロナ禍で苦しくても、それも私達の青春の一つと言う意味が込められています。

今回の全校企画で使用した木は「森林認証材」と言います。鹿沼市で作られた「ブランド杉」です。東京の国立競技場は全国各地の材料を使用していて、栃木県からは鹿沼市の杉が使用されています。

そして、そのメッセージを東中生全員で、折り鶴として制作できたことがとても嬉しいです。私は今回のこの活動を通して、みんなで協力することの大切さを学びました。みなさんが協力してくださったお陰で、今回の企画を行うことができました。

本当にありがとうございました。

全校企画 2020 実行委員長 3年5組 松下 美夢

#### 全校企画 2020 実行副委員長の言葉

みなさんこんにちは。

この全校企画 2020 は、例年にない初めての試みであり、コロナ禍の中での企画で、私自身も「この企画は成功するのかな?」「みんな協力してくれるのかな?」など様々な不安がありました。しかし、みなさんのおかげで成功することができ、本当に良かったと思っています。

みなさんの手で作られた折り鶴のモザイクアートのメッセージは、3年生のみなさんに募集し、集まったメッセージの中から私達が考えて選びました。

私はこのような実行委員を務めることは初めてで、戸惑いや不安がたくさんありましたが、初めてやったからこそ、新たに学べたことがたくさんありました。そして、できあがった作品を見て、「この企画が成功して良かった。」「実行委員をやって良かった。」といううれしさと達成感が一番大きいです。

この折り鶴のモザイクアートのメッセージを通して、医療現場の最前線で働いてくださっている医療従事者のみなさんに、私達の感謝の気持ちが届くことを願うとともに、一刻も早い新型コロナウイルスの終息を願っています。

最後になりますが、この全校企画 2020 に御協力いただき、本当にありがとうございました。

全校企画 2020 実行副委員長 3年1組 斎藤 史織

#### 全校企画 2020 2 年実行副委員長の言葉

みなさん、創作活動お疲れ様でした。皆さんのお陰でこのような大規模な作品が完成し、とても感動しています。これまでの御協力とても感謝しています。この全校企画 2020 は、コロナウイルスで中止になってしまった学校行事の代替案として、折り鶴でのモザイクアートを作成しました。この折り鶴を医療機関に寄付し、鹿沼を盛り上げていくということを目指してきました。

皆さんは今までの活動を振り返ってどうでしたか？ クラスそれぞれの思いの込められた作品が仕上がったと思います。鶴には何枚かメッセージを記入したものもあると思います。自分なりのメッセージやコロナウイルスに対しての思いなどを記入できたでしょうか。このメッセージが届くことを願っています。そしてこの活動を通して、私が思ったことがあります。それは、コロナウイルスによってとても大きなもの例えば、学校行事や 1 学期の 2 か月を失ってしまいましたが、それに変わる大切なこと、命の大切さや、医療関係の方の存在の大きさなどを新たに発見し、改めて理解したこともあると思います。

コロナ禍で生きるためには、新型コロナについて知り、適切な対処を取ることが一番重要です。これからも適切な対処を取りながら生活していきましょう。本当に御協力ありがとうございました。

全校企画 2020 2 年実行副委員長 2 年 2 組 田中 紗英

#### 1 年実行副委員長の言葉

今年は、新型コロナウイルスの影響で運動会などの学校行事がなくなってしまう、僕自身残念な思いをしていました。だから、この企画が立ち上がったときはとても嬉しかったです。自分が折った鶴が千羽鶴の一部になると考え、一羽一羽にコロナ終息への願いを込めて、丁寧に折ることを心がけました。そして、糸通しの時にはただ糸を通すだけではなく、鶴の形が整っているかを確認しながら進めていきました。

二・三年生は平和への祈りを込めて、例年千羽鶴を作成していると聞いていますが、一年生は初めて鶴を折る人がたくさんいました。完成に向けて、限られた時間を上手に使うために、鶴が折れる人をできるだけ増やそうと鶴マスター養成講座を行いました。どのクラスも実行委員や鶴マスターが中心となって、一生懸命折ることができたと思います。

最後に、この行事によってクラスの団結力が上がったことがすごく良かったと感じています。この行事を通して経験したことを、これからの日常生活の中でも生かしていきたいです。

全校企画 2020 実行副委員長 1 年 4 組 中曽根暖希